

事務事業名	県営大原地区中山間地域総合整備事業負担金(ほ場整備等)	所属部	産業振興部	所属課	農林土木課
政策名	総計画体系 (V)賑わいあふれる雲南市《産業・雇用》	所属G	土地改良G	課長名	石飛幸治
施策名	(33)農業の振興	担当者名	細木浩之	電話番号 (内線)	0854-40-1053 3709
基本事業名	(096)生産基盤の整備・保全	予算科目	会計 款 項 目 中事業 011 310 015 510 310	県営大原地区中山間地域総合整備事業負担金	

1 現状把握の部

(1)事業概要

①事業期間	②事業の内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	③開始したきっかけ (いつ頃どんな経緯で開始されたのか?)
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返(年度~) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度(18年度~23年度)	事業主体は島根県 工種:ほ場整備、用排水路、集落防災施設、暗渠排水、集落排水 区域:大東町、木次町 基本の負担率 国...55% 県...30% 市...10% 地元...5%	農業の大型機械化や施設の老朽化が進み、基盤整備することにより効率的な農業を図るため。

(2)トータルコスト

①事業費の内訳(概要)	事業費負担金 市負担金内訳 ほ場整備;1,120千円(10%)、農業用排水;360千円(10%)、暗渠排水;4,320千円(10%)、生態系保全施設;1,800千円(15%)	②延べ業務時間の内訳(業務の流れ等) 事業説明会、工事説明会 現場立会 換地会議など	<table border="1"> <tr> <th>事業費</th> <th>財源内訳</th> <th>単位</th> <th>21年度(決算)</th> <th>22年度(決算)</th> <th>23年度(決算)</th> <th>24年度(計画)</th> <th>25年度(計画)</th> <th>全体計画</th> </tr> <tr> <td>国庫支出金</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>県支出金</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>千円</td> <td></td> <td>42,700</td> <td>20,200</td> <td>1,400</td> <td></td> <td></td> <td>162,300</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>千円</td> <td></td> <td>1,650</td> <td>3,185</td> <td>600</td> <td></td> <td></td> <td>7,362</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>千円</td> <td></td> <td>10,450</td> <td>3,418</td> <td>5,600</td> <td></td> <td></td> <td>33,655</td> </tr> <tr> <td>事業費計(A)</td> <td>千円</td> <td></td> <td>54,800</td> <td>26,803</td> <td>7,600</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>203,317</td> </tr> <tr> <td>正規職員従事人数</td> <td>人</td> <td></td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>延べ業務時間</td> <td>時間</td> <td></td> <td>50</td> <td>50</td> <td>50</td> <td></td> <td></td> <td>300</td> </tr> <tr> <td>人件費計(B)</td> <td>千円</td> <td></td> <td>191</td> <td>194</td> <td>197</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>582</td> </tr> <tr> <td>トータルコスト(A)+(B)</td> <td>千円</td> <td></td> <td>54,991</td> <td>26,997</td> <td>7,797</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>203,899</td> </tr> </table>	事業費	財源内訳	単位	21年度(決算)	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(計画)	25年度(計画)	全体計画	国庫支出金	千円								県支出金	千円								地方債	千円		42,700	20,200	1,400			162,300	その他	千円		1,650	3,185	600			7,362	一般財源	千円		10,450	3,418	5,600			33,655	事業費計(A)	千円		54,800	26,803	7,600	0	0	203,317	正規職員従事人数	人		3	3	3			18	延べ業務時間	時間		50	50	50			300	人件費計(B)	千円		191	194	197	0	0	582	トータルコスト(A)+(B)	千円		54,991	26,997	7,797	0	0	203,899
事業費	財源内訳	単位	21年度(決算)	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(計画)	25年度(計画)	全体計画																																																																																														
国庫支出金	千円																																																																																																					
県支出金	千円																																																																																																					
地方債	千円		42,700	20,200	1,400			162,300																																																																																														
その他	千円		1,650	3,185	600			7,362																																																																																														
一般財源	千円		10,450	3,418	5,600			33,655																																																																																														
事業費計(A)	千円		54,800	26,803	7,600	0	0	203,317																																																																																														
正規職員従事人数	人		3	3	3			18																																																																																														
延べ業務時間	時間		50	50	50			300																																																																																														
人件費計(B)	千円		191	194	197	0	0	582																																																																																														
トータルコスト(A)+(B)	千円		54,991	26,997	7,797	0	0	203,899																																																																																														

(3)事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標

手段	① 主な活動	指標名	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(目標)	25年度(目標)	最終(目標)
	23年度実績(23年度に行った主な活動) ほ場整備工事、暗渠排水工事 農業用排水工事等 現場説明、立会 負担金の支出 24年度計画(24年度に計画している主な活動) 平成23年度が6年間の最終事業年度であり、中期財政計画より削除された。新たに平成24年度より雲南北地区中山間地域総合整備事業として6年間実施する。	⑤ 活動指標							
		ア 説明会等の回数	回	26	15	20			140
		イ							
		ウ							
		エ							
		オ							

目的	② 対象(誰、何を対象にしているのか)	指標名	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(目標)	25年度(目標)	最終(目標)
	事業実施地区受益者	⑥ 対象指標							
		ア 受益戸数	戸	57	42	120			517
		イ							
上位目的	③ 意図(対象がどのような状態になるのか)	⑦ 成果指標							
	ほ場の区画整理による大区画化、用水路整備による安定的な用水確保、暗渠排水整備による乾田化	ア 事業実施箇所	箇所	9	8	8			63
		イ							
		ウ							
	④ 結果(どんな上位目的に結び付けるのか)	⑧ 上位成果指標							
	・農業所得の向上	ア 市内の農業所得総額	億円	▲ 3.2	▲ 3.4	▲ 2.3			▲ 2.6
		イ							

(4)事務事業の環境変化、住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどうか変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	② この事務事業に関するこれまでの改革改善の取り組み経緯	③ この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
平成23年度が6年間の最終事業年度である。	特になし	事業実施地域からは、営農の効率化が図られ、喜ばれているため、近隣地区から多数の実施要望が寄せられている。

事務事業名	県営大原地区中山間地域総合整備事業 負担金(ほ場整備等)	所属部	産業振興部	所属課	農林土木課
-------	---------------------------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ 大型農業機械の導入や用排水路整備により農業の生産性の向上が図られる。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ 中山間地域の条件不利地での総合的な基盤整備事業であり妥当。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ 大東町、木次町の中山間地域に限定されている。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】↷ 国の採択を受けた計画地を実施。実施時には再度、地元要望などを取り入れながら実施し、完成後も地元の確認を受ける。成果の向上を図っている。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】↷ 地元からの要望を元に計画がされている。その要望について実施できなくなる。
効率性 評価	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ 地元負担が軽く、総合的な基盤整備が出来る事業が他にない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】↷
	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 工法は経済性を考慮し設計されている。
公平性 評価	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方の工夫で延べ業務時間を削減可能か? 成果を下げずに正職員以外や委託でできないか?	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 大東町と木次町に分けて担当。実施区域が広範囲であるため削減余地はない。
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ 定率の受益者負担がされている。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																					
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	中山間地域の条件不利地での総合的な基盤整備事業であり、受益者負担も少ないので、継続的な実施が望まれる。																					
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> (廃止・休止の場合は記入不要)			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持			×																		
	低下		×	×																		
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 特になし																						